愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	国際組織論		
担当者(Instructors)	金 良泰	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本講義は、経済のグローバル化に伴いその重要性が高まっている国際組織論について学ぶ。特に、国際組織論の主な研究対象である多国籍企業の経営活動について組織論にフォーカスを当て考察する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	国際組織論の概要、目標、成績評価などについて説明する	□
第2回	国際経営とは何か？	国際経営と多国籍企業のの具体的な実像やその背景論理などを理解する	□
第3回	多国籍企業の組織デザイン	企業内の組織をどのような単位で分割するか、それぞれの組織をどのような関係で結ぶかなど組織デザインについて学ぶ	□
第4回	グローバル経営の組織論(1)	多国籍企業の多様な環境のもとでの組織対応について理解する	□
第5回	グローバル経営の組織論(2)	多国籍企業の多様な環境のもとでの組織対応について理解する	□
第6回	組織を動かす基本設計(1)	組織は何のために作られるのか、組織における分業の基本構造、組織における調整などについて理解する	□
第7回	組織を動かす基本設計(2)	組織は何のために作られるのか、組織における分業の基本構造、組織における調整などについて理解する	□
第8回	組織を動かすメカニズム(1)	官僚制組織、科学的管理法、人間関係論、また経営組織の背後にある3つの論理について理解する	□
第9回	組織を動かすメカニズム(2)	官僚制組織、科学的管理法、人間関係論、また経営組織の背後にある3つの論理について理解する	□
第10回	効率的に目標を達成する(1)	部門化の在り方、権限と責任、基本の組織設計などについて理解する	□
第11回	効率的に目標を達成する(2)	部門化の在り方、権限と責任、基本の組織設計などについて理解する	□
第12回	本社ー海外子会社関係とその変遷(1)	本社ー海外子会社関係とその変遷について学ぶ	□
第13回	グローバル統合・ローカル適応の論理(1)	多国籍企業における集権・分権の論理とグローバル統合とローカル適応のフレームワークについて学ぶ	□
第14回	グローバル統合・ローカル適応の論理(2)	多国籍企業における集権・分権の論理とグローバル統合とローカル適応のフレームワークについて学ぶ	□
第15回	まとめ	まとめ-テストの解説	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

【事前学習】次回授業の内容および課題の遂行(約2時間)。 【事後学習】授業内で学んだ内容を再確認し、課題を遂行する(約2時間)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

質問時間は、講義の前後。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	企業組織に関する基礎知識を学び、多国籍企業経営活動・組織へ適用し国策組織に関する理解を高める。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

中間テスト(30点)、期末テスト(30点), その他は出席、授業中の態度などを総合的に判断する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		